

環境情報をどのように発信していますか？

JR東日本グループではWebや社会環境報告書など、さまざまなメディアを通して環境情報を発信しています。

皆さまとの双方向コミュニケーションを通じて、環境への取り組みを一段と推進していきます。

環境情報の発信

各種媒体での情報提供

JR東日本は1996年から環境報告書を発行しています。また2002年には社会環境報告書として、社会面についての報告も始めました。2003年にはより広く配布するため、報告書の環境ダイジェスト版も発行しました。

またこれとは別に、お子さま向けの小冊子「シロクマ、電車でかえる。」、「おおきくなーれ、エコのきもち。」を作成、エコプロダクツ展などで配布しています。

このほか、インターネットや新聞・雑誌、車内ポスターなどのメディアを通じて、積極的に情報を発信しています。¹ 2003年度は省エネルギー車両に関する環境広告などを、中吊り広告として掲載しました。



小冊子「エコのきもち」のアンケートでは、30件のお返事をいただいています



クイズ形式で環境情報を発信する「ちょっと次の駅まで3分間エコゼミナール」

各種イベントでの情報発信

2003年12月に開催されたエコプロダクツ展では、「JR東日本の環境への取り組み」と題して出展を行いました。主にJR東日本におけるリサイクルの取り組みやインターモーダルへの取り組み、省エネルギー電車209系の模型、NETレインのしくみなどを展示し、会期中に来場された延べ11万4,060人の方々に活動を紹介しました。



JR東日本の展示ブースでは環境に関するクイズを実施。1,500人の方にご参加いただきました

自治体・他企業との連携

JR東日本では、環境情報の発信を目的として、毎年さまざまな団体とイベントを共催しています。

2004年1月には仙台支社が仙台市環境局と「JR東日本エコロジーキャンペーン」を開催し、分別リサイクルへの取り組み、回生ブレーキのしくみなどについて紹介しました。

また同年3月には、東京ガス(株)と「ガス&レールウェイ～東京ガスとJR東日本が考える環境への取り組み～」を東京駅にて共催しました。両社の環境への取り組みを紹介したほか、両社の社員によるオーケストラ演奏も実施。環境と美しい音色のマッチングは来場された皆さまからご好評をいただきました。



仙台市環境局とタイアップしたイベントでは、無線LANに接続したパソコンを使って、ゴミ分別クイズやアンケートも行いました



「ガス&レールウェイ」では、エネルギー効率が高い鉄道と環境負荷が比較的低い天然ガスの、持続可能な社会におけるそれぞれの可能性を提示しました

環境イベント参加状況

機関	イベント名	開催日	主催・共催
秋田支社	あきたエコ&リサイクルフェスティバル2003	03/9/27、28	秋田県
水戸支社	地球環境パートナーシップフェア	03/10/18、19	茨城県
高崎支社	高崎地球市民環境展	03/10/26	高崎市
本社	エコプロダクツ2003	03/12/11～13	(社)産業環境管理協会 ほか
仙台支社	JR東日本エコロジーキャンペーン&NETレイン公開試乗会	04/1/31～2/1	JR東日本 仙台市環境局
本社	ガス&レールウェイ	04/3/11～13	JR東日本 東京ガス(株)
仙台支社	こどもエコクラブ全国フェスティバル in せんだい	04/3/27～28	こどもエコクラブ

¹ JR東日本ホームページ
エコロジーページ
<http://www.jreast.co.jp/eco/>

自然環境体験の共有

鉄道沿線からの森づくり

1992年から各支社で社員のボランティア活動の一環として植樹を行い、地域の皆さまにも参加していただいています。2003年度までに約2.9万人が参加、23万本を植樹しました。2002年度以降は、自治体などとのタイアップが増え、例えば2003年度には、横浜支社が沿線自治体と実施する「相模線沿線ハイキング」の途中で、1,000本を約650人で植樹しました。



「鉄道沿線からの森づくり」には2003年度までに2.9万人が参加



北海道にて行われた植樹イベント「大沼ふるさと森づくり」では、2万5,000個のポット苗をつくるとともに、2,400本のミズナラの苗を植樹

安達太良ふるさとの森づくり

JR東日本では、自然への感謝の気持ちを持つとともに地球の未来に貢献したいと考え、その土地固有の樹木を植えて、森を再生させる活動を行っています。この一環として、2004年5月に、3年間かけて22種4万5,000本の苗木を植樹する、「安達太良ふるさとの森づくり」を、JR東日本グループ社員のほか一般の参加者も募り実施しました。

また、当日は植樹を行うのと同時に、自然に触れ合いながら、森が支える多様な生態系を見て学び、体験できる「自然観察ミニウォーク」森林散策も開催しました。



「安達太良ふるさとの森づくり」には社内外より600人が集まり、植樹を行いました

エコツーリズムの推進

JR東日本では、各地のすばらしい自然との関わりをテーマにし、自然を体験するさまざまな旅を提供しています。

2003年度は、日本で初めてユネスコ世界自然遺産として登録された白神山地の魅力を紹介する「第一回白神山地ブナの学校東京分校」を5月に、また2002年度に引き続き、「白神山地ブナの学校」ツアーを主催し、ツアーには150人の方々にご参加いただきました。

また、各地の駅から気軽に自然を楽しめる「駅からハイキング」も継続して実施しています。2003年度は、予約が必要なイベントコースだけでも約350回実施し、20万人のご参加をいただきました。



案内人に連れられて自然を体験するツアー「ブナの学校」のパンフレット



定員制で予約が必要なイベントコースと、自由に楽しめるおすすめコースの2種類がある「駅からハイキング」